

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 63

2020年1月発行

昨年はお世話になりありがとうございました。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



障害をもつ子とともに

26年前、重度の障害をもつ娘を出産し、それまで、障害をもつ人と出会うことなく暮らしてきた私は、初めて障害をもつ人と向き合うこととなりました。娘を育てながら、大学の通信制で社会福祉を学び資格を取りました。専門職からも多くを学びましたが、娘とその周りの子どもたちや、障害当事者とその家族から本当に多くのことを教えられました。

16年前、思いを同じくする仲間たちとNPO法人を立ち上げました。障害当事者と支援者のネットワーク、子育て支援のネットワークや、不登校児と家族を支援するためのネットワークを立ち上げたり、障害をもつ子どもたちの余暇を豊かにするための活動をしたり、まちづくりの活動をしたりと地域に密着した活動をしてきました。特に、幅広い意味での子育て子育ての支援に力を注いできました。娘のこともあり、障害をもつ子どもの子育て子育て支援については、さまざまな取り組みを行ってきました。子どもの思いを聴くことをしないで、一方的に行われる「訓練」や「支援」に疑問を感じ、「個人将来計画」や「自立生活プログラム (ILP)」の子ども版を創りました。当時は、放課後等デイサービスや児童発達支援などのサービスもない時期でした。

そして今、娘は成人して自分らしく日々を送り、私は放課後等デイサービスの事業をしながら障害をもつ子どもたちと日々を過ごしています。放課後等デイサービスは、単なる療育や訓練の場ではありません。小集団の中で、人との関係を築いていくことや、社会のルールを習得することを学ぶ場であり、体験を重ねたりつながりを広げたりする場であり、そして、自尊感情を育み自分らしくいることができる居場所であると思っています。子どもたちが楽しく学校生活を送ることができるように、子どもたちが学校卒業後に地域社会のつながりの中で暮らしていくことができるように、子どもたちが自分らしく生きていくことができるようにと願っています。そしてまた、子どもを育てる保護者も、一人の人間として、自分らしく楽しく生きていくことができるようにと願ってやみません。

今年がよい年となりますように！

(地域生活サポートネットほうぷ 向井裕子)

ほうぶ茶屋 開店！

— NPO法人地域生活サポートネットほうぶ 地域交流事業 —

おしながき

- ◎ つきたてのおもち
- ◎ あったか〜いのみもの
- ◎ 子育て相談コーナー

日時：2020年1月11日（土）14:00~15:30

参加者：子ども7名、ボランティア8名、来客32名

協力：近隣のみなさま

楽童ほうぶでは、子どもたちの「しごと体験」と「地域交流」を目的として、「カフェほうぶ」を年に一回開店してきました。

今回は、職員たちの「お餅つきがしたい」という思いから、地域交流を目的として、ご近所の方々にご協力をいただき、お餅つきをして茶屋を開店することにしました。昨年末に、お向かいの敷地で町内の餅つき会が開催されたので、それに参加させていただいて予習をしました。町会の回覧にもチラシを入れていただいたので、地域の方々が、「新年に餅つきやるんやろ。しっかり手伝ってや」と声をかけてくださいました。

当日は、お向かいさんのご指導のもと、お向かいで餅つきをして、ほうぶで「ほうぶ茶屋」を開店しました。学生ボランティアや社会人ボランティア、高校生が中心になって餅をついてくれ、小さな子どもたちや小学生、楽童ほうぶの子どもたちも餅つき体験をしました。ベビーカーに小さな子どもを乗せたご家族がたくさん来てくださり、賑やかなお餅つき&茶屋になりました。

<ボランティアの感想から>

- ・大学を卒業してから何度かほうぶに来ていましたが、餅をひたすらついて疲れました。つきたてのおいしい餅を食べることができ良かったです。
- ・地域の方々との交流があり、子どもたちにとって、非常に有意義で貴重な体験を送れたのではないかと思います。
- ・餅をつく貴重な体験ができて、子どもたちが楽しそうにできて良かったです。だんだんとほうぶの子どもたちの名前もわかってきたので、もっと深く知れるようにがんばりたい。

<参加者の方々の感想から>

- ・お餅、とてもおいしかったです。接客がすばらしかったです。ごちそうさまでした。
- ・お餅つき、普段なかなか体験できないことを体験でき、とても楽しい一日でした。娘も楽しんで地域の方々とお話をしたりしていてホッとしました。これからもいろいろ経験して成長して行ってほしいと思います。
- ・店員さんがきちんと案内してくれて、おいしいコーヒーがいただけました。

<こどもの感想から>

- ・もちつきをしました。たのしかったです。
- ・おもちおいしかった。



放課後等デイサービス「楽童ほうぷ」報告

「楽童ほうぷ」には、小学校1年生から高校3年生まで、幅広い年齢の子どもたちがやってきます。同年齢の子どもが多いデイを希望される保護者もいるようですが、私たちはさまざまな年齢の子どもたちが共に育ちあうことを大切にしてきました。子どもたちは、日々、学校生活で同年齢の子どもとの関係を積み重ねています。デイにおいては、異年齢集団の中で子ども同士の学び合いが生まれ、一人ひとりの育ちを豊かにしていくと考えています。

「楽童ほうぷ」では、主体的な遊びを育むことを大切にしています。日々、設定された療育を行うのではなく、さまざまな遊びを通して、子どもが本来もっている自ら育つ力を発揮できるようサポートをしたいと考え、子どもに向き合っています。遊びだけでなく、学習面でも「やりたい!」という想いを大切にしています。そして、一人ひとりの子どもの支援計画について、常勤スタッフ4人全員で話し合います。スタッフは子どもと遊びながら、子どもが見せる姿から捉えたそれぞれの見立てを共有して支援内容を導き出し、遊びの中での支援を工夫していきます。幅広い年齢の子どもたちへの遊びの中での支援には、スタッフの質の高さが求められます。スタッフは、ミーティングの中で子どものようすや支援方法についての意見交換をしたり、研修を受講したりと研鑽を積んでいます。11月21日には、スタッフを講師に「子どもの権利条約」について学びを深めました。

10月から12月の楽童ほうぷのようすをお知らせします。10月に万博公園にお出かけをする予定でしたが、季節外れの台風到来で、残念ながら中止にしました。11月には旭区ふれあい広場に参加しました。12月にはクリスマス会を開催しました。保護者の方々も見に来てくださり、楽しい時間となりました。

創作活動は、クッキー、スイートポテト、クレープ、ラスク、炭酸ゼリーなど、いろいろなおやつ作りをしました。土曜日にはクッキングをしました。メニューも多彩です。10月はハロウィンをイメージして、模造紙2枚をつないだ大きな紙に絵の具を流していろいろな模様をつくり、その上に折り紙を折ったり切ったりして貼り付けました。11月のふれあい広場のゲームの製作と看板づくりもしました。12月は、和歌山信愛女子短期大学の野村真弘氏（現代美術・絵画）に来ていただき、本格的なキャンバスづくりを行いました。木工などの作業が好きな子どもはキャンバスの組み立てに精を出しました。大人の身長より大きなものが出来上がりました。大きな「白い壁」に興味をひかれ、自然とクレヨンを持つ手が動く子どももいました。このキャンバスは今後、楽童ほうぷの廊下に、いつでも自由に描いたり塗ったりしてよい「大きならくがきちょう」として設置しました。

音楽活動は、武庫川女子大学の音楽療法専攻の学生さんたちが毎月来てくれて、童謡をみんなで歌ったり、リズム遊びをしたり、学生さんのハンドベル演奏やアニメソングの演奏を聴いたり、楽器を使ったゲームをしたりと工夫を凝らしたプログラムを行ってくれました。クリスマス会には千里金蘭大学の学生さんたちが合唱や合奏を披露してくれました。

関係機関や地域との連携では、学校訪問をして子どものようすを教えていただいたり、他の放課後等デイサービス、計画相談事業所の相談員や区役所の職員と情報を共有したり、

旭区の事業所連絡会（区内の放課後等デイサービスと児童発達支援の事業所が参加）の会議に参加したりしました。また、ご近所の方から、大きなエアホッケーをいただいたり、雑誌をいただいたりしました。地域の方々の温かい見守りに感謝しています。



働 旭区ふれあい広場

日時：2019年11月17日（土）11：00～13：00

楽童ほうぶの参加者：こども8名、学生ボランティア8名、スタッフ4名

ほうぶのお店の来店者：57組

主催：旭区社会福祉協議会 参加者：501名

楽童ほうぶのみんなで旭区ふれあい広場に参加しました。昨年に続き、ゲームのお店を出店しました。子ども会議を行ってゲーム内容を決めました。出店に向けて、廃材や段ボールを使って、「スマートボール」や「的あて」ゲームの製作をしました。設計と組み立てはスタッフが行いましたが、スマートボール台のやすりがけやデコレーション、的あての的づくりに分担して取り組みました。これまでは、中高生が多かったので、お店番と休憩（会場を回って楽しむ）

をローテーションで行ってきましたが、小学生が増えてきて、体力や集中の継続時間や個別サポートの必要性を考慮して、全員でお店番をして、早めに店じまいをすることにしました。子どもたちは、大学生ボランティアに手助けしてもらいながら、それぞれ割り当てられた場所で店番をしました。親子連れを中心にたくさんの来客がありました。

店番のお仕事をした後は、会場を回って、好きなものを買ってお昼ご飯にしました。地域の方々とたくさん交流することができました。

＜ボランティアの感想から＞

- ・ふれあい広場楽しかったです。小さい子どもとたくさん交流ができていやされたし、小さい子どもでも順番を守ったり、点を競って喜んでいたり、こんなに楽しんでくれるのか！というのが発見でした。ほうぶの子らもお客さんと楽しそうに交流していたし、ちょっとお兄さん、お姉さんとして教えている様子がかいま見れて嬉しかったです。
- ・今日は、ふれあい広場に行きました。初めはほうぶの子が少ないから大変になるかもと聞いていたけど、実際は子どもたち相手にゲームを始めてみるとみんな担当のゲームにしっかりついてくれたので良かったです。Aちゃんは初めは何をしていいか分かってないみたいだったけど、これをしてほしいということをお伝えしたら手伝ってくれたので良かったです。ゲームが終わってからはいろんな食べものを探したり、消防車に乗る体験ができて良かったです。



楽しく遊んでもらえるか、まずは自分たちで試してみよう



遊んでくれてありがとう！
好きなの選んでね！



学 遊 クリスマス会

日 時：2019年12月21日（土）14：00～15：30

参加者：こども11名、ボランティア7名、千里金蘭大学学生11名

ご家族のみなさん：9名

毎年恒例の大イベント、クリスマス会を開催しました。楽童ほうぶのクリスマス会は、子どもたちもイベントの作り手として運営に関わり、保護者の方々にもご参加いただき、楽しいひと時を過ごしていただく催しです。今年は3部構成と盛りだくさんの内容でした。

第1部は、子どもたちによる特技発表で、お気に入りの曲に合わせてのダンスや歌唱披露、スマホアプリを活用したイントロクイズ、ぬいぐるみを使ったオリジナル動画の上映、オリジナルの脚本（子どものアイデアをスタッフが聴き取り文章化）によるヒーローショーなど、発表内容も子どもたちの個性を反映して、バラエティに富んだものとなりました。自分がやりたいことを舞台上で披露する子どもたちは驚くほど堂々としていて、子どもの力を改めて感じます。

第2部は、千里金蘭大学の学生有志による音楽会でした。「子ども音楽実践演習」という授業の一環として、楽童ほうぶのクリスマス会にあわせて来てくださり、季節を感じるプログラムを用意していただきました。最後は今年の流行歌「パプリカ」に合わせて、ステージも客席も

混ぜこぜで歌い踊りました。

第3部は、大阪経済大学ボランティア部の学生有志による企画として、ケーキデコレーションに取り組みました。6つのグループに分かれ、それぞれ個性的なケーキが完成しました。

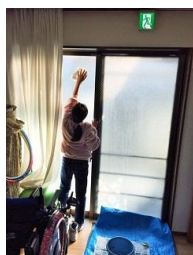
会話がはずみ、子ども・学生・保護者の相互交流の機会となりました。また、保護者同志の交流も自然に生まれていました。

<社会人ボランティアの感想から>

- ・子どもたちの出し物は、自信を持ってやっている子と少しはずかしそうにやっている子、結局出演できなかつた子…と色々でしたが、それはこれまでの経験の違いなのでしょうね。でも、どの子どもとも良かったです（ヒーローショーはめっちゃショーになってました）。大学生とのコラボも、皆で楽しめていましたね。パプリカで踊り出したり、Aくんが太鼓を叩き始めたのも内発的な行動に感心しました。こういった交流のあるほうぶさんの取り組みは一步進んだ放デイのあり方だと思います。参加させて頂きありがとうございました。

<ご家族の感想から>

- ・子どもたちの発表もひとりひとりの個性が出てとても良かったです。それぞれの特技などが出て楽しかったです。学生さんの音楽会もピアノ、楽器、歌も素晴らしくなつかしい曲も多く良かったです。パプリカはみんなで歌って、踊れて良かったですネ！デコレーションケーキも楽しめておいしく頂きました。ありがとうございました。



住

大掃除&お楽しみ会 庭の木の剪定

住まいの手入れをすることも大切な体験です。秋には、庭の木の剪定を体験してもらいました。12月25日には大掃除をしました。年末の恒例行事です。それぞれの得意なこと、可能な作業にあわせて、屋内外での清掃を分担して行いました。大阪経済大学・大阪工業大学の学生ボランティアと一緒に活動することで、子どもたちにとっても学生との交流を楽しみながら生活環境の整備や生活技能を学ぶ機会となりました。大掃除でがんばったあとは、「おたのしみ会」として、男子は銭湯に、女子は千林商店街のお店にスイーツを食べに行きました。



●地域活動報告●

- 10月 5日(土) 支援フェア(旭区民センター)に楽童ほうぶの子どもとスタッフが見学
- 10月25日(金) 旭区地域自立支援協議会こども部会(教育と福祉の連携)学習会に参加
- 10月29日(火) 清水地域活動協議会地域福祉部会主催世代間交流事業の準備
- 10月30日(水) 清水地域活動協議会地域福祉部会主催世代間交流事業

- 1 1月 5日(火) 旭区和んで座談会の準備会
- 1 1月 9日(土) 清水地域活動協議会の会議に参加
- 1 1月12日(火) 旭子育て安心ネットワーク会議に参加
- 1 1月20日(水) 旭区地域自立支援協議会定例会に参加
- 1 2月 4日(水) 旭区事業所連絡会(児童)定例会に参加
- 1 2月 6日(金) あさひの輪(子育て支援)の定例会に参加
- 1 2月10日(火) ブックスタート(参加者4組) ⇒⇒⇒⇒⇒
- 1 2月16日(月) 清水地域子育てサロン クリスマス会に協力
旭区地域自立支援協議会こども部会に参加
- 1 2月28日(土) 町内餅つきに参加
- 1月 7日(火) 旭区和んで座談会の準備会

和んで座談会(日程変更)開催します

日時:3月21日(土) 11時~14時半
会場:旭区民センター 参加費:無料
障害当事者とご家族、地域の方々が
楽しく交流し、防災について語り合う
ことができればと思います。



◆◆清水校下地域活動協議会のお知らせ◆◆

世代間交流事業 清水みんなの音楽会を開催しました

日時:10月30日(水) 10:30~11:30 会場:さくら苑地域交流スペース
参加費:無料 主催:清水校下地域活動協議会 共催:清水校下社会福祉協議会

BUONO2633(ボーノ)さんによる音楽会を開催しました。幼いお子さんとお母さん、保育所や幼稚園の子どもたち、地域住民の方々、高齢者施設の方々、たくさんの方が参加してくださいました。みんなで楽しいひと時を過ごし、世代間の交流ができました。



○研修会のお知らせ○

自己肯定感の根っこを育てる ~地域の大人にできること~

日時:2月4日(火曜日) 10時~12時

会場:旭区在宅サービスセンター 3階多目的室 (旭区高殿6-16-1)

講師:伊藤嘉余子氏(大阪府立大学 教授)

定員:40名(申し込み 先着順) 参加費:無料 資料代:300円

主催:地域生活サポートネットほうぶ 後援:大阪市旭区役所・大阪市旭区社会福祉協議会

様々な事情から安心感を得られにくい不安を高めやすいといった課題を抱えている子どもたちがいます。子どもたちが、自分が大切にされていると実感しながら育つことができる地域をつくるために、私たちになにができるかを学びましょう。

昨年後半から、「こども相談ほうぶ」への問い合わせが増えてきました。2歳から中学生までのお子さんの保護者が、さまざまな悩みを抱えて来所されました。スタッフ1名か2名で対応し、情報の提供をしたり、保護者と一緒に考えたりしていきます。帰り、保護者の顔が少しでも明るくなればと思いながらお話をさせていただきます。「来て良かったです」と言っていただけは嬉しいです。

「こども相談ほうぶ」は、福祉サービス事業ではありません。当法人の相談事業です。出会いつながる場でもあります。何かが始まる場でもあると思います。

新しい年、たくさんの出会いとたくさんの幸せがありますように。

